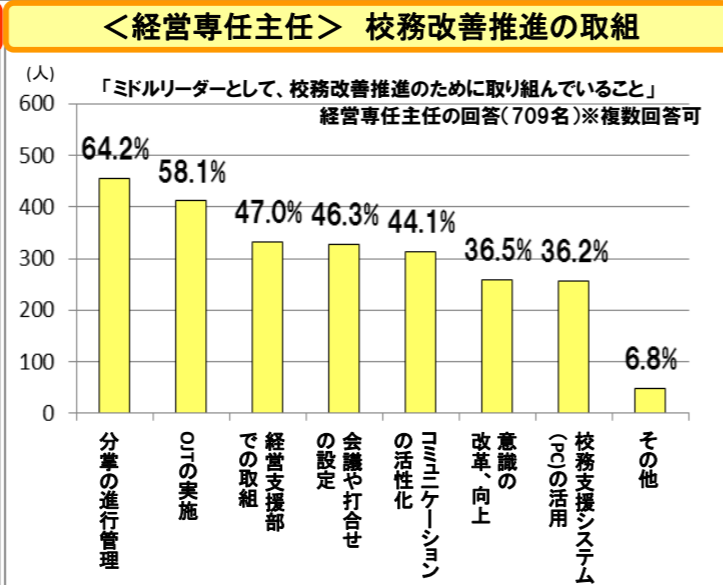
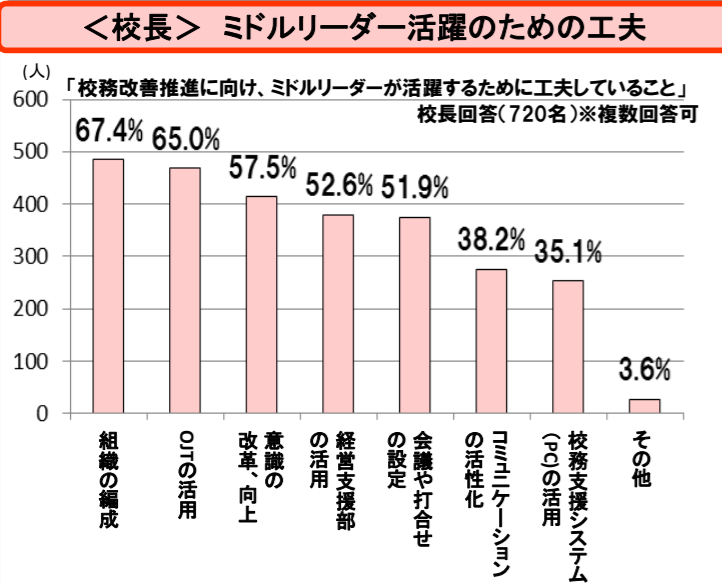


ボトムアップで創る校務改善

今年度は、さらなる校務改善の推進に向け「ミドルリーダーの活躍」「ボトムアップ」をキーワードとし「ボトムアップで創る校務改善」を推進テーマに設定。経営支援部設置校にアンケートを行い取組状況や事例を調べた。以下に調査内容をまとめ、校務改善のさらなる普及と定着に向け広く発信し、周知する。

(1) 校務改善推進のための校長やミドルリーダーの取組状況



主な取組内容の例

組織の編成

＜責任を持たせる分掌配置＞

- 分掌の長と構成員の間にミドル層を設置
- 各分掌に副主任を設置、全主任教諭を配置

＜伝達ルートの工夫＞

- 起案システムを改善、起案者と管理職の間に設定
- 各業務の進捗状況報告は「主任を通す」ことを徹底

＜学校全体を動かすポジションの設置＞

- プログラミングや外国語など、新しい教育活動を担当
- 校外との連携が必要な役割に主任教諭を配置

☆連絡・調整や指導・助言の機会を意図的に設定することで、経営参画意識と責任感を育成

主な取組内容の例

経営支援部での取組

＜役割を分担、チームで改善＞

- 会計業務や業者との連絡を支援部で分担、実施
- 掲示物の更新など教員以外でもできる業務を明確化

＜学校評価の推進、改善案を提案＞

- 学校評価の進行管理を担当、副校長の負担軽減
- 学期毎に改善策を提案、学校運営へ迅速な還元

＜校内外の渉外、調整機能＞

- PTAや地域との連携、学校内外の行事の連絡調整
- 校内の人材の配置を計画、活用を促進し業務を補助

☆業務の分担等、効率化に向けた提案・改善を行うとともに、外部とのパイプ役を担い円滑な学校運営に貢献

コミュニケーションの活性化

＜打合せの在り方や連絡方法の見直し＞

- 全体ではなく分掌や学年の話し合い時間を増加
- ミドルリーダーが事務主事等への連絡を実施

＜学年会の充実＞

- ミニボードを学年主任に渡し、活発な話し合いを推進
- ミドルリーダーが学年会の内容を報告する場を設定

＜話し合う機会を設定＞

- 研究協議を小グループで実施、ミドルリーダーが進行
- 運営連絡協議会へ参加させ、地域とのつながり強化

☆ミドルリーダーが積極的に話ができる環境づくりを促進。建設的な意見が活発に出るとともに、提案力が向上

意識の改革、向上

＜情報の収集発信を実施＞

- 研修に自主的に参加、ミニ講習会を開き校内に還元
- 「主幹便り」を作成、計画的な働き方を推進

＜ICTを活用し情報共有＞

- 教育委員会の方針を校内メール等で周知
- 便利ツールをフォルダで共有、効率化の意識を拡大

＜目標設定で意識を向上＞

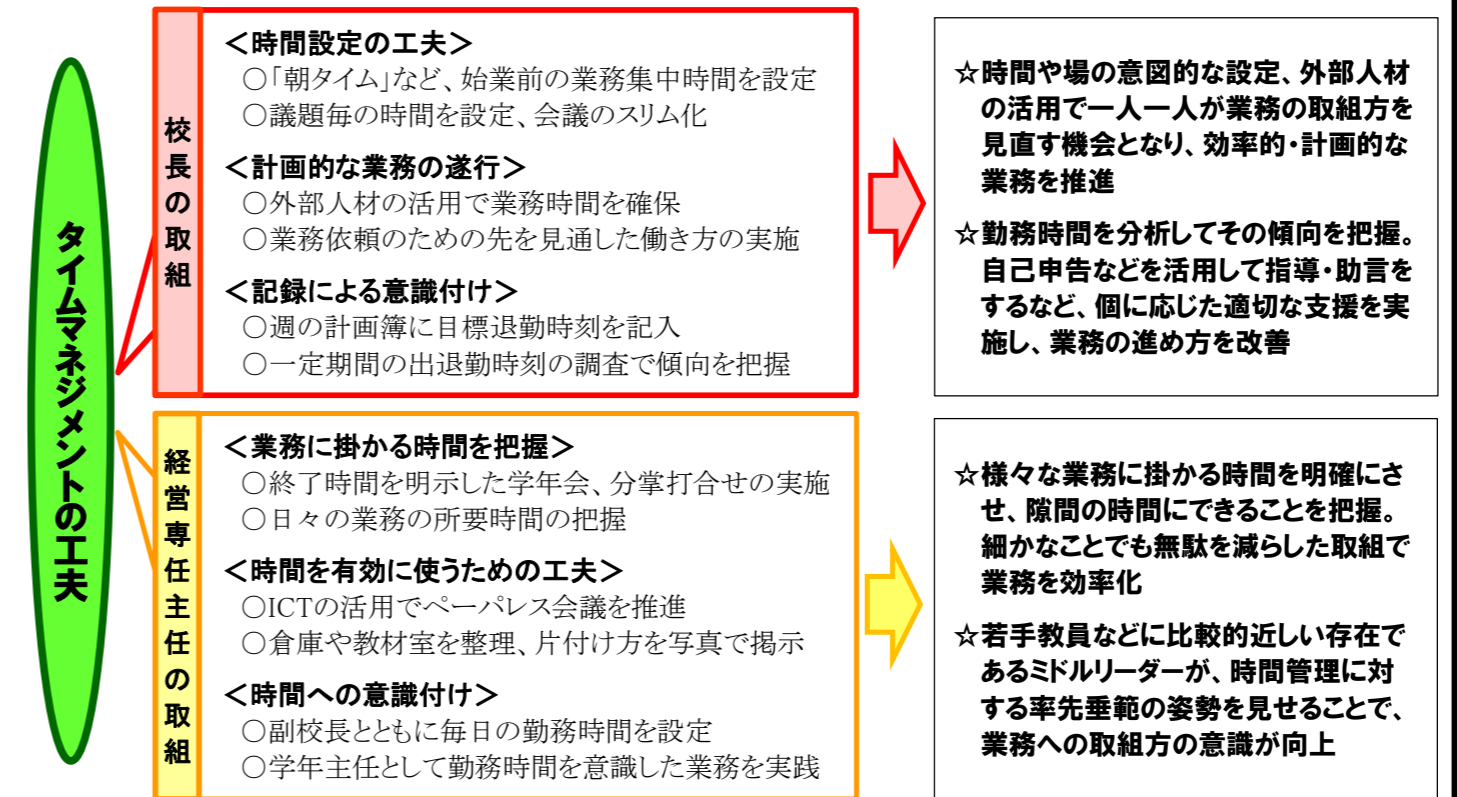
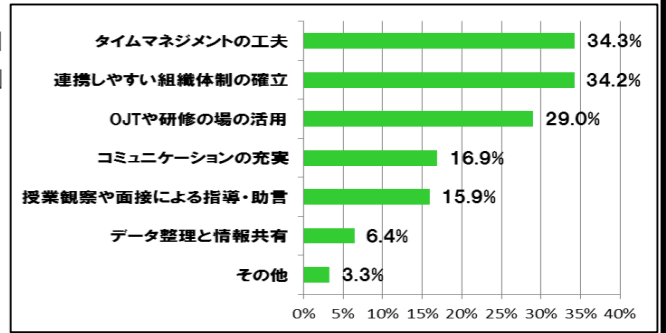
- 働きやすい職場づくりのためのスローガンを作成
- 校務改善のための月別重点ポイントを明示

☆ミドルリーダーとして自己研鑽を深め校内に発信。様々な工夫で意識を共有し、校務改善の気運を醸成

(2) 他の教職員への働き掛け

＜校長＞「ミドルリーダー以外への働き掛けとして取り組んでいること」 } 「ある...87%」
 ＜経営専任主任＞「ミドルリーダーとして他の教職員への働き掛けとして取り組んでいること」 } 「ない...13%」

「取り組んでいることがある」との回答が9割近くであった。取組の内容についての自由意見を集計したところ、右のグラフのような結果となった。
 中でも「タイムマネジメントの工夫」は、様々な工夫が見られ、取り組みやすい内容が多く見られた。以下に主な取組内容とその効果をあげる。



「タイムマネジメントの工夫」だけでなく、管理職やミドルリーダーが他の教職員に業務の効率化などを働き掛け、工夫することによって、校務改善への意識が高まり、教職員発による様々なアイデアが出される傾向が見られた。

(3) まとめ

